

## 第8回 福岡空港調査PI有識者委員会

### 議 事 要 旨

【開催日時】平成20年1月21日(月)13:30~15:00

【開催場所】NTT夢天神ホール

【出席者】

- (1) 委員 (委員長) 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授 石田 東生  
西日本新聞社特別顧問 杉尾 政博  
神戸大学大学院工学研究科准教授 竹林 幹雄  
弁護士 山本 智子  
( 藤田委員(公認会計士)は所要により欠席)

(2) 福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

・福岡空港調査連絡調整会議幹事

- 国土交通省九州地方整備局港湾空港部長 梶原 康之  
国土交通省大阪航空局飛行場部長 傍士 清志  
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長 西村 典明  
(代理出席:空港計画課企画監 大久保 一衛)  
福岡市総務企画局理事 阿部 亨

【議事要旨】

福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ3)の実施結果に関する審議が行われ、下記のとおり、評価及び助言が行われた。

#### 1. 評 価

PI活動の実施については、PI実施計画(ステップ3)に則って、適正な時間管理のもと中立・公正に、十分な周知広報の実施、多様で適切なPI手法の選定、わかりやすい情報の提供、及び収集した意見とそれに対する考え方を公表したものと認められることから、適切なものであったと評価された。

また、情報が市民等に十分に提供され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられるため、PI(ステップ3)の当初の目標は達成されたと評価された。

#### 2. 助 言

1) 周知広報については、その目的に応じてより効果が得られるような時期や媒体を検討すること

2) PI手法については、継続的に実施してきた催しの改善や新たな試みにより市民相互のコミュニケーションの実現など成果があったと認められるが、空港の利用特性を考慮しつつ、市民等からより多くの意見を収集できるよう今後とも多様で適切なPI手法の選定に努めること

3) 市民等からの意見については、過去のステップに比べ意見の収集状況が良好になってきたことが認められるが、さらに多くの市民等から意見を収集できるよう努めること

また、市民等へのP Iの浸透に努めるとともに、その状況を勘案しながらP Iの実施をすること

4) 収集した意見のうちP Iに反映したものについては、そのことが分かるよう情報提供を行うこと

また、寄せられたご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議としての考え方を整理する際は、市民等へ誤解を与えることがないように配慮すること